

ばばだび  
JTサンダーズ広島



竹田 英司

先月末、米子大会の朝食会場入り口で私は選手の検温をしていた。新井雄大選手が開口一番、「この軟弱な足首が嫌になりま

す。昨日も朝起きた時は全然痛みがなかったのに…」と悔しそうに話した。



米子大会でVリーグ初先発を果たした坂下選手（2月28日）

## 検温・通院 選手に寄り添う

楽しむ魂胆かと思った私は「ふざけるな、今日は試合日だぞ。ちゃんと食事を取れ。野菜も食べろよ」と叱責した。

2月27日は小野寺太志選手の誕生日。試合後にたくさんのおプレゼントを抱えながら「今日は竹田さんが洗濯当番をやってください」と言ってきた。「嫌だね。汗臭い服なんて洗濯したくない」と返すと、小野寺選手は「僕は竹田さんみたいな大人にだけはなりたくありません」と憎まれ口をたたいた。

そう言われて悔しく思った私は近くにいた航選手に「私みたいになりたいよな」と聞くと、「僕は竹田さんに憧れています」とためらわずに答えてくれた。この2年間の航選手に対する私の教育は間違っていないかったよ

うだ。広島に戻って坂下純也選手の通院に付き添った。処置中、医師から「痛いよ」と声を掛けられた坂下選手は「怖いよ。そう

だ、竹田さんのことを考えて気を紛らわそう」と、かわいらしいことを言ってくれた。帰り道、「手ぐらい握ってやればよかつたかな」と軽く後悔した。

(JT広島マネジャー)